

分野別報告

人物の派遣

国際交流基金は広く文化交流の諸分野で事業を行なっているが、その一環として重要な位置を占めるのが、専門家間の交流を中心とする人物交流事業である。

このうち派遣事業においては、学術、芸術、スポーツなど多くの分野にわたる学者・研究者や専門家を、国内外の要請に基づき世界各地へ派遣し、日本文化に関する紹介や助言・指導を行なっている。

本事業により派遣された人々は、知識や技術の交換に終わるのでなく、それぞれの専門を通じて世界各地で今の日本の姿を伝え、また現地社会との接触を通じて、相手国の文化を日本に紹介するという国際相互理解の促進に寄与するものと期待される。

1. 日本文化紹介派遣

個人あるいは少人数のグループを海外に短期間派遣し、1か国あるいは数か国で日本文化を紹介する。

文化講演会の開催、知的指導者による意見交換、生け花・折り紙など生活文化の実演・指導、小規模グループによる舞台芸術の公演やレクチャー・デモンストレーションなどがある。

<2003年度事業例>

- **現代舞踊**(2004年2月22日～3月7日/インド)
山田せつ子 & 枇杷系による現代舞踊の公演およびワークショップを実施した。
- **アニメ講演会**(2004年2月26日～3月6日/ブラジル、米国)
アニメーション監督・富野由悠季氏によるアニメーション講演会を実施した。
- **和太鼓デモンストレーション**(2003年10月9日～11月2日/ポルトガル、スペイン、スイス)
和太鼓奏者の佐藤健作氏らによる和太鼓の公演およびワークショップを実施した。

2. スポーツ専門家派遣

日本の伝統スポーツなどの紹介や各国の監督・コーチへの指導、親善試合を行なうことを目的に、日本の得意なスポーツの指導者を派遣する。

<2003年度事業例>

- **剣道・古武道デモンストレーション**(2003年10月14日～22日/ロシア)
財団法人全日本剣道連盟会長武安義光氏ほか計9名を派遣し、剣道および古武道(柳生新陰流)の演武・指導などを実施した。



和太鼓ワークショップ

- **柔道デモンストレーション**(2004年1月23日～2月2日/アルジェリア、シリア)

財団法人講道館の協力のもと甲斐光氏ほか計5名を派遣し、柔道の実技・指導などを実施した。

3. 国際交流基金フェロースhip

海外で人文・社会科学の各分野において共同研究や研究指導を行なう学者・研究者、また芸術分野において共同制作や制作指導をする芸術家に対し、渡航経費の助成を行なっている。

<2003年度事業例>

- **「移動動詞による周縁的アスペクトの対照言語学的研究」**
坂原茂氏(2003年4月1日～2004年3月21日/米国)
- **「国際連盟の社会・人道分野での活動」**
後藤晴美氏(2003年10月8日～2004年9月30日/英国)
- **「新たなダンスの展開に挑戦する作品『ルワンダ』の創造」**
山崎広太氏(2003年4月9日～2004年3月31日/セネガル)

4. 国際会議出席者派遣

海外で開催される国際会議、シンポジウムなどに招請され、講演、基調論文の発表を行なうなどの指導的役割を果たす日本国内の人文、社会科学、芸術分野の専門家に対し、渡航経費の助成を行なっている。

<2003年度事業例>

- **「現代の文化：社会的文脈における口頭伝承」**
山本春樹氏(2003年9月30日～10月7日/インドネシア)
- **「文様美術の伝統と国際性」**
鶴岡真弓氏(2003年8月26日～9月3日/ポーランド)

5. 文化協力派遣

開発途上国からの文化諸分野の人材育成に対する協力要請に応え、日本国内の実績のある専門家を派遣し、現地の指導者・専門家に対する助言・指導ならびに現地事情調査などを行なっている。

<2003年度事業例>

- **「米百俵」**(2003年5月12日～24日/ホンジュラス)
「米百俵」の上演実績を有する、すわらじ劇團代表・木村進次氏を派遣。ホンジュラス国立演劇学校生徒による「米百俵」上演に先立ち、演劇指導を行なった。



剣道・古武道デモンストレーション

6. 文化遺産保存専門家派遣・日本古美術保存修復事業

世界各国の文化遺産および海外に存在する日本の美術工芸品などの保存・修復に協力するため、実績のある日本国内の専門家を派遣し、助言・指導ならびに調査などを行なっている。

<2003年度事業例>

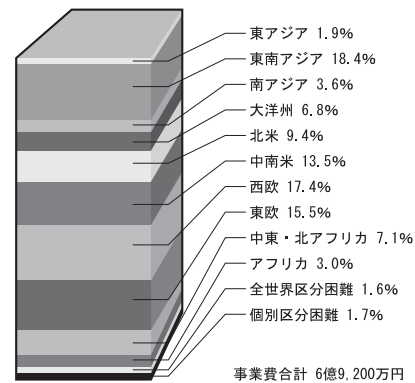
●アンコール遺跡の保存修復(カンボジア)

本事業は現地およびカンボジア政府の強い要望に基づき継続的に行なわれている。2001年度はJSA (Japanese Government Team for Safeguarding Angkor)シエムリアップ事務所長として佐藤康治氏(2003年4月～)を、工事部門主任として赤澤泰氏(2002年11月～)を派遣した。

●在欧古美術調査(絵画)(2003年11月30日～12月7日)

東京文化財研究所2名ほか計3名からなる調査団を派遣し、王立美術歴史博物館(ベルギー・ブリュッセル)、オーストリア応用美術博物館(オーストリア・ウィーン)およびワルシャワ国立博物館(ポーランド・ワルシャワ)に派遣し、各美術館が所有している日本美術品(絵画)に関して修復の要否などに関する調査・協議などを実施した。

地域別比率



7. 地域・草の根交流欧州派遣

日本と欧州(旧ソ連を含む)との相互理解および友好親善のため、国際交流に特に寄与し、地域・草の根レベルでの人物交流、国際交流施設での研修・調査などを行なう団体に対し、渡航経費の助成を行なっている。

<2003年度事業例>

●「環日本海先住民族文化交流シンポジウム」(2003年8月8日～15日/ロシア)

21世紀日本ロシア交流促進実行委員会が、ハバロフスクにおいてシンポジウムやワークショップ、文化紹介、演奏紹介を実施した。

●「市民フォーラム21・NPOセンター」(2004年3月17日～28日/英国)

東海地域で活動するNPO関係者および自治体関係者を中心とするメンバーにより、NPOが行政から受ける事業委託に関する英国の事例を調査するとともに、関係者との意見交換を実施した。



米百穂